

各論 7

【各論 7】

愛知県（豊橋市）での取り組み
（地域の開業小児科医から始まった医療的ケア児
支援ネットワーク）

事業の概要

愛知県豊橋市で小児科医として40年近く働き、開業25年となります。地域医療の実践として必然的に小児在宅医療を行ってきました。小児在宅医療の現状と問題点、その解決策について報告します。

1. 愛知県豊橋市の小児在宅医療の現状
2. 医師会を活用しての小児在宅医療の理解と拡大。
3. 愛知県小児科医会における小児在宅医療の理解と拡大。

Keyword

医師会活動、地域包括ケアシステム、愛知県小児科医会、福祉サービス、電子連絡帳

内 容

1. 豊橋市の小児在宅医療の現状
2. 大谷小児科の取り組み
3. 訪問看護の状況
4. 障害者福祉の状況
5. 愛知県の取り組み
6. 豊橋医師会の取り組み
7. まとめ

【引用情報】

大谷勉：開業小児科医にできる小児在宅医療支援 日本小児科医会会報 第51号 34-37 2016
船戸正久他：小児在宅医療支援マニュアル 改訂2版 MCメデイカ出版 2010年10月1日発行
日本在宅医学会 テキスト編集委員会編集 在宅医学 メデイカルレビュー社 2011年7月1日発行
国民の福祉と介護の動向 厚生指針増刊 2015/2016 厚生労働統計協会
障害者に対する支援と障害者自立支援制度 社会福祉士シリーズ14 弘文堂

1

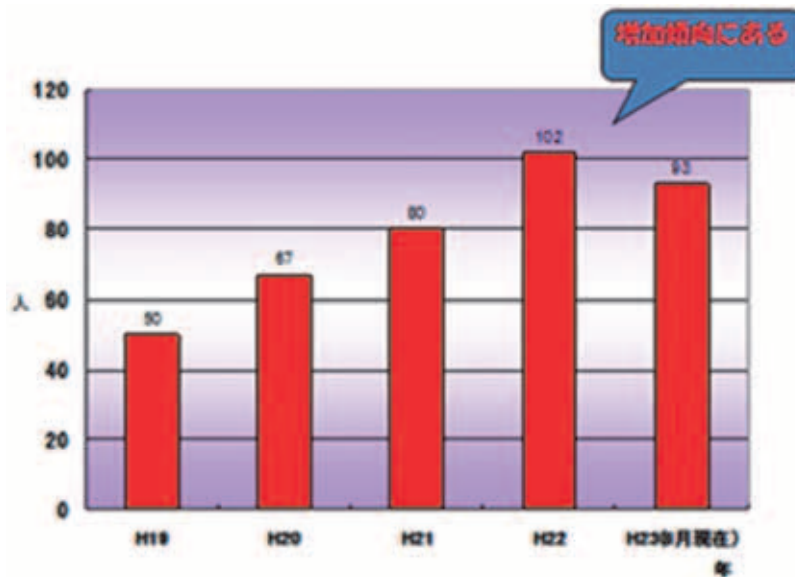
愛知県豊橋市



豊橋市は、愛知県の東部に位置し、人口 38 万の中核市です。秋の次郎柿が特産品で、ウズラの卵と大葉の生産量は日本一です。小児医療は三次医療の豊橋市民病院を中心に 18 の小児科専門診療所があります。

2

豊橋市民病院小児科における在宅医療患者数の推移



豊橋市民病院は、人口 60 万人を抱える東三河の中核病院。小児科は総合周産期センター 35 床、一般小児科 35 床。小児科医 20 名を抱え、すべての時間に対応しています。市民病院通院中の小児在宅医療の患者数も年々増加し、100 人近くとなっています。

3

豊橋市民病院小児在宅医療の内容

人工換気	酸素	気管切開	エアウェイ
8	15	19	7

吸引	胃瘻	胃カテーテル	導尿
43	30	20	34

(平成25年10月)

人数：104人

年齢(中央値[範囲])：10歳 [11か月～29歳]

在宅医療の内容も 人工換気 8 名、気管切開 19 名、胃瘻 30 名と重度の医療的ケアを必要とする児が増えています。

4

大谷小児科在宅医療

- ▶ 豊橋市民病院での資料より在宅医療を受けながら生活されている方が増えています。
- ▶ 私は開業以来白血病性白質脳症の女性の方を訪問診療してきました。その後豊橋市民病院、豊橋医師会訪問看護ステーションからの依頼にて訪問診療の患者さんは増えてきました。今迄に21名の方を訪問診療し、現在12名訪問診療しています。7名が亡くなられています。

私は40年近く豊橋市で小児科医として働き、豊橋市民病院時代から1名の訪問診療を続け、開業後も豊橋市民病院、豊橋医師会訪問看護ステーションからの依頼で訪問診療を行っています。今までに20名以上、現在12名の訪問診療をしています。

大谷小児科訪問診療

「雨ニモマケズ」宮沢賢治
 雨ニモマケズ
 風ニモマケズ
 雷ニモ夏ノ暑サニモマケヌ

東ニ病氣ノコドモアレバ
 行ッテ看病シテヤリ
 西ニツカレタ母アレバ
 行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ
 南ニ死ニサウナ人アレバ
 行ッテコワガラナクテモイイトイヒ
 私の訪問診療の精神



私の訪問診療の精神です。宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の一部です。
 通院が困難な児にはこちらから出かけていきますよ。在宅医療は、患児が家族に支えられ家にいるだけではありません。
 地域のつながりの中で生活することです。開業医もこの中の一員として積極的なかかわりを持つべきと考えます。

豊橋市医師会訪問看護ステーション

- 平成6年(1994年)開設
- 平成17年(2005年)小児訪問看護開始
- 今迄に延べ41名、平成24年13名の小児訪問看護
- (平成25年秋資料)



エミシア訪問看護ST
 訪問看護尽誠苑
 訪問看護向日葵
 訪問看護明陽苑
 穂の国訪問看護ST

小児在宅医療を支えるうえで訪問看護師の役割は極めて大きい。豊橋市医師会訪問看護ステーションは、平成6年開設、平成17年小児の訪問看護を開始しました。
 豊橋市では現在6か所の小児も可能な訪問看護ステーションがあり、小児の訪問看護は家族の希望があればほぼ可能です。人工呼吸器使用の児は毎日の利用もあります。

訪問児の疾患名(平成25年10月)

赤い数字は死亡有数
()は訪問診療ありの数

疾患名		人数
先天性疾患	18トリソミー	5 (2)
	21トリソミー	1
	染色体異常	1
	ダウン症候群	2
	新生児黄疸 マツシキオパチー	1 (1)
	小脳低形成	1
	腎臓性脳萎縮症	1
	ジュベート症候群	1
	ミトコンドリア病	1 (1)
	二分腎臓	1
	聴覚神経外反症	1
	胚嚢性ジストロフィー	1 (1)
	腎臓腫瘍	1 (1)
脊髄腫瘍形成症	1	
先天性疾患	先天性心疾患	4
	先天性心疾患	1
	先天性心疾患	1
	先天性心疾患	1
	先天性心疾患	1
	先天性心疾患	2
	先天性心疾患	2 (1)
	先天性心疾患	1
	先天性心疾患	1
	先天性心疾患	1
悪性腫瘍	悪性腫瘍	4
	悪性腫瘍	1
	悪性腫瘍	3 (2)
難病	難病	6
	難病	1

豊橋市医師会訪問看護ステーションの平成25年までの小児在宅医療実績です。延べ46名、この中で小児科医の訪問診療が得られたのは10名でした。小児科開業医の協力、参加が少ないのが悩みです。



豊橋には、難病のこども支援東海ネットワークがあります。20年以上の歴史があり、毎年夏キャンプ会を行っています。写真はこのときの写真です。気球に障害の子供や家族も乗り込み感激して帰ってきます。キャンパー28名、ボランティアなど含め総勢約190名の参加と大掛かりな企画です。冬のクリスマス会、忘年会も行なわれ情報交換も密にしています。



療育手帳

身体障害者手帳

障害福祉サービス受給者証

地域生活支援受給者証

在宅での生活は、福祉制度の利用がとても重要です。このとき各自治体発行の「福祉の手引き」が役立ちます。また地域相談支援員を中心に福祉の利用量が決められます。このためには、まず身体障害者手帳、療育手帳、市町村が発行している障害福祉サービス受給者証、地域生活支援受給者証が必要です。

福祉サービスの実施主体は各市町村にあり、障害福祉サービス受給者証により、通院等助助、短期入所等のサービスが決められ、地域生活支援受給者証で、移動支援、日中一時支援、訪問入浴等のサービス量が決められます。



豊橋市自立支援協議会

↓
全体会↓
運営会議↓
相談支援専門部会↓
医療的ケアに関する検討会
(医療ニーズを持つ障害児の地域生活を
進める検討会 が作成)利用出来る社会資源(保健医療・訪問
看護・訪問リハビリ等医療系、福祉系)を
了解をえてすべて掲載

豊橋市では、医療と福祉を総合的に知ることができるガイドブックができました。福祉サービスとして、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、日中一時支援、訪問入浴、居宅介護、短期入所、療養介護、施設入所支援。

医療サービスとして、訪問診療、訪問歯科、訪問看護、訪問リハビリ、訪問薬剤管理
これらの一覧が掲載されています。

愛知県地域医療再生計画 H23年11月1日決定

(1) 小児・周産期等医療体制の構築

つ 障害児医療対策【具体的施策】

① 発達障害医療等の拠点施設整備

県内の発達障害医療の拠点施設として、また小児・周産期医療の後方支援施設として、愛知県心身障害者コロニーの建て替え整備、再編整備「医療療育総合センター(仮称)」を行う。

② 障害児(者)医療に係る研修事業

心身障害者コロニーを拠点とした医療ネットワークを構築し、発達障害者の早期診断・治療及び、障害者が地域で安心して医療を受けられる体制の構築に向け、医療関係者の教育研修を行う。

③ 障害児(者)医療学寄附講座設置

障害児(者)の医療に関わる医師を養成するため、名古屋大学に「障害児(者)医療学寄附講座」を設置し、小児科を始め児童精神科、整形外科など、関係する診療科も参加して医師の養成を行う。

- ◆H23/11月～H28/3月 国の地域医療再生基金を利用した「愛知県地域医療再生計画」による愛知県による設置。
- ◆H28/4月～ 地域医療介護総合確保基金を利用して延長決定。

愛知県も障害児医療に対し各種計画、事業を行っています。
心身障害者コロニーを核にした各種研修
名古屋大学に障害児(者)医療学寄附講座の設置があります。

あいち小児在宅医療研究会

	テーマ	特別講演	シンポジウム	参加者数
第1回 2012/ 11/18	NOUからの在宅支援	三浦清輝「小児在宅医療の現状について～あいち小児在宅医療研究会立ち上げにあたり～」	愛知県のNOUからの在宅支援、現状と課題 ・名大NOU教授 ・小児科関係医 ・コロニー小児神経科医 ・訪問看護ステーション	439 医師57、訪看112、 病院104、 福祉・教育等77、 行政・個人24
第2回 2013/ 11/24	ライフステージを通じた医療連携	穴倉智子「重症心身障害児・者の地域在宅生活を支えて20年～みんなで作った病院連携～」	愛知県のライフステージを通じた医療連携 ・小児科関係医 ・訪問看護ステーション ・保護者 ・コロニー内科医	321 医師47、訪看52、 病院73、 福祉・教育等47、 行政・個人16
第3回 2014/ 12/7	小児在宅に必要な支援体制を考える	末光茂「重症心身障害地域包括ケアの愛知モデルへの期待～後が先になるチャンス～」	愛知県のレスパイトの現状と課題 ・重心児童デイ事業所 ・重心日中一時支援事業所 ・一般病院小児科医 ・コロニー看護師	362 医師42、訪看78、 病院65、 福祉・教育等70、 行政・個人16
第4回 2015/ 12/20	小児在宅に必要な地域ネットワーク構築	田中総一郎「小児在宅患者さんの防災対策～医療のアウトリーチと多職種連携による支援の重要性～」	愛知県の小児在宅地域ネットワーク構築 現状と課題 ・県医師会在宅担当理事 ・訪問看護ステーション ・市自立支援協議会 ・こばと学園医師	328 医師27、訪看70、病院52、 福祉・教育等69、 行政・個人16

名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座主催のあいち小児在宅医療研究会が2012年に始まり4回行われています。第1回では、私も開業小児科医の立場で小児在宅医療の現状について報告しました。

13 あいち小児在宅医療実技講習会

第2回 あいち小児在宅医療実技講習会のご案内

主催：
 ◆ 大同病院
 ◆ 名古屋大学医学部障害児（者）医療学寄附講座
 ◆ 愛知県小児科医会
 （小児在宅医療委員会）

2018年1月31日（日）10:00～17:00

会場：大同病院 大会場

参加費：5,000円（送料別）

対象：小児在宅医療に従事または予定の医師30名
 スタッフ総勢20名（医師19名）



私は愛知県小児科医会理事、小児在宅医療委員会会長をしています。

今年1月あいち小児在宅医療実技講習会を大同病院、名古屋大学医学部障害児（者）医療学寄附講座、愛知県小児科医会の共催にて小児科医を中心に30名の医師の参加のもと行いました。実技講習により、小児在宅医療の状況の理解と実技の習得を行い、より多くの医師に小児在宅医療の参加をお願いする機会としました。今年の12月18日（日）第2回を予定しています。

14 愛知県医師会の取り組み

愛知県における小児在宅医療ネットワーク構築 愛知県医師会の取り組み 小児在宅について

- ▶ 地域包括ケアはこの概念が出来上がる過程から高齢者を対象にしたもの
- ▶ 地域包括ケア担当が厚生労働省内でも医政局から老健局に移された
- ▶ 地域包括ケアは介護保険制度の対象者しか想定されていない。
- ▶ 従って厳密に言えば地域包括ケアには小児在宅や40歳未満の障害者、若年の慢性難病患者は含まれていない。
- ▶ 現状では各自治体のICTネットワークへの支出が介護保険からなされていることが多く、制度上小児在宅医療に利用することに対し難色を示す自治体も少なからず存在する。
- ▶ 「地域包括」という言葉を使う以上、地域全体の医療・福祉・介護全体が対象になるべきで、介護保険対象者以外の小児や障害者医療についてもこの整備されつつあるICTを使ったネットワークを利用すべきであると考えらる。

愛知県医師会 理事
 瀬戸地在宅医療介護連携推進協議会 会長
 愛知県在宅医療支援診療所連絡会 代表
 野田内科小児科医院
 野田正治

愛知県医師会も地域包括ケアの事業の中に小児在宅医療を組み込み各種事業の応援を予定しています。

在宅医療サポートセンター事業

- ・ 基金を使い県内すべての医師会に在宅サポートセンター事業を展開
- ・ 在宅医療サポートセンターと中核センター
- ・ 地域によって状況が異なるため地域包括ケアはそれぞれの地域事情に合わせる
- ・ ICTを使った連携 （各サポートセンターで「在宅医療の提供と連携に関する実態調査」を行う）
- ・ 多職種連携
- ・ 財源 地域医療介護総合確保基金（国2/3 県1/3）3年間で11億9000万円

愛知県医師会を通じ在宅医療サポートセンター事業に 11 億 9000 万円の予算がついています。この事業に加わる形で小児在宅医療も推進していくことを考えています。

愛知県医師会在宅医療担当野田正治理事からは、多くの応援をいただいています。

16 豊橋市医師会の取り組み

豊橋医師会

事業名 在宅医療サポートセンター事業（財源：新たな財政支援制度、国2/3、県1/3）

事業年度 平成27、28、29年度

- 設置名称
1. 在宅医療サポートセンター
県下の郡市区医師会に1箇所設置
年補助金額 6,733千円
 2. 中核センター
県下の医療圏に1箇所設置
年補助金額 6,881千円

豊橋市医師会は会員数約 500 人、豊橋市役所との連携にて、市からの多くの委託事業を行っています。予防接種事業も中核市の中で高い接種率を誇っています。在宅医療に関しては、在宅医療サポートセンター事業に3年間で約4000万円の予算がついています。私は在宅医療委員会委員として医師会を通じ小児の在宅医療の理解を試みています。小児在宅医療を行う小児科開業医が極めて少ない現状より、内科の在宅医療を行っている先生と協力して2人態勢での訪問診療を試みています。

17 豊橋市医師会在宅医療研修会

第6回 在宅医療研修会

開催日時 平成28年8月16日(火)、午後7時45分～午後9時

開催場所 豊橋市保健所・保健センター 1階 講堂

対象者 医師、訪問看護ステーション等在宅医療に係る看護師、歯科医師、薬剤師

【事例検討・グループワーク】 8人×10G

在宅療養患者に必要な社会資源について検討する 小林 恭子先生

【講演】

I 演 題 「副読書による意識障害がある事例を通して摂食嚥下障害看護について考える」

講 師 豊橋市民病院 摂食嚥下障害認定看護師 黒木 聡子 先生

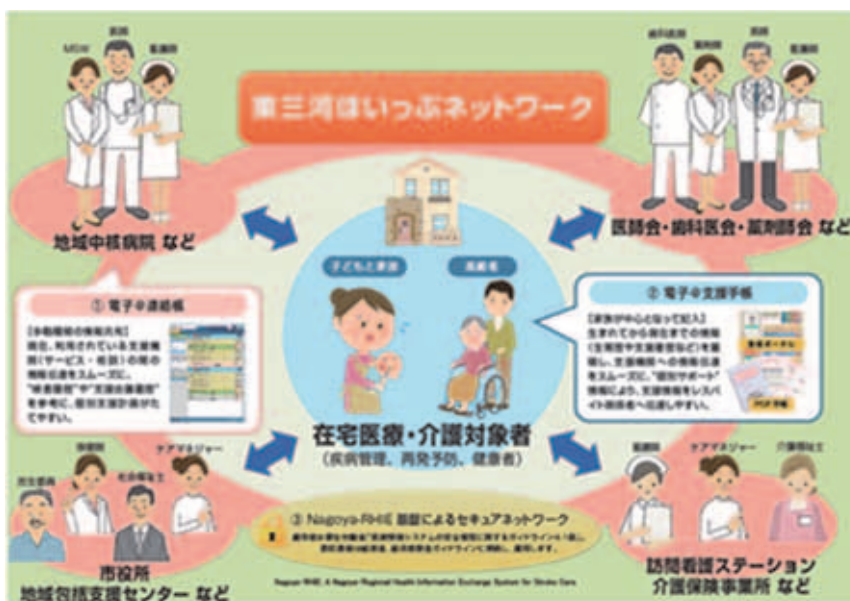
II 演 題 「誤嚥の兆候とその対応」

講 師 独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター 渡辺 真児 先生

参加者人数	83名	(事務員2名・コンダクター1名を含む)		
医師	19名	看護師職	21名	歯科医師・歯科衛生士 19名
薬剤師	21名			

豊橋市医師会は、在宅医療推進のため、在宅医療研修会を6回行ってきました。私も「豊橋の小児在宅医療の現況」のタイトルで講演を行い小児在宅医療について理解と参加を呼びかけました。

18 電子連絡帳



豊橋市医師会主導にて電子連絡帳が構築されました。患者さんを中心にして患者さんの情報を医師、訪問看護師、介護施設、歯科、薬剤師で共有しより質の高い在宅医療を提供するシステムです。このツールにより、瞬時に情報の共有が可能になりました。

- 愛知県豊橋市の小児在宅医療の状況を報告しました。
- 小児在宅医療を支える小児科開業医が極めて少ない。
- 医師会の活動を通じ小児在宅医療の理解と支援をお願いします。
- 地域の他職種の人とも交流し理解を深める。
- 今後開業小児科医にとって地域医療を実践する重要な仕事と位置付ける必要がある。

豊橋における小児在宅医療の現状について報告しました。今一番の問題は在宅医療を行う開業小児科医が極めて少ない。この解決策として小児科医に小児在宅医療の重要性を訴え、開業小児科医の診療の一部と位置付ける。成人の訪問診療医に小児科医とタイアップして診ていただく。この2つの方向性が必要と考えています。この為には医師会を通じての小児科医の発言、小児科医会を通じての開業小児科医への訴えを機会あるごとに行う必要があります。

20 小児在宅医療の地域資源の活用

豊橋の市電(ほっとらむ)

地域の医療資源、福祉資源を活用しての地域の実状にあった在宅医療支援が必要です。



小児在宅医療は、小児診療のスペシャリストである小児科医にとって、その応用編としてすべての小児科医で可能です。一歩踏み出す勇気と病気の子供を思う暖かい気持ちがあれば可能です。各地域での医療資源、福祉資源を活用してその地域に合った小児在宅医療を創り上げてください。多くの小児科医の参加が、睡眠時間を削り日々奮闘しているお母さんや、家族の方々への大きな励ましとなります。ぜひ多くの小児科の先生方の参加をお願いいたします。